

# 12月の果実の見通し

令和2年11月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 山形 ほか	6337	105%	6651	353	安い	319	731	11.5%	「サンふじ」は、11月下旬に各産地から出揃った。 長野県では、前年気象災害を受けたが、本年は順調に生育。36、32玉中心に出回り、数量は前年より若干増加。 青森県産は前年同様36=40玉の玉流れ。作柄が良く、数量は前年を上回る。 長野県産、山形県産は収穫終盤に入り、前月より上位等級品の比率は下がるが、りんご類全体では品質、数量ともに前年を上回る見込み。
西洋なし類	山形 新潟 ほか	814	95%	717	343	平年並み	369	610	74.9%	「ラ・フランス」は11月下旬までに全体量の5割が終了。12月上旬までダラダラ出荷が続ぎ、12月中旬以降の数量は前年を下回る見込み。 新潟県産「ル・レクチェ」は11月20日から12月上旬まで販売。数量は前年を上回る。
かき類	福岡 奈良 ほか	2640	80%	2408	308	高い	309	58	2.2%	「たねなし柿」の出荷は順調で、11月中に販売が終了する。 「富有柿」は12月上旬から露地物、中旬から冷蔵物が始まる。 岐阜県産「袋掛け」は12月上旬から、冷蔵物は平年通り15日前後に始まる。数量は平年の7割程度。2L中心だが、全体的にはやや小玉傾向。 愛媛県産「富士柿」は平年より少ない。
干し柿	山梨 長野 福島	507	100%	546	2229	平年並み	2145	30	5.9%	長野県産「市田柿」は11月26日から販売開始。 山梨県産「枯露柿」、富山県産「干し柿」は12月上旬から開始。 福島県産「あんぼ柿」は11月から開始、12月上旬から増加し中旬にピークを迎える。 出荷計画では、山梨県、長野県産は前年より少なく、福島県、長野県産は前年より多い。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	32843	100%	32007	284	高い	299	-	-	好天により順調な生育。 「早生みかん」は12月上旬でほぼ終了。 「普通温州」が12月中旬から始まり、肥大状況は良い。 「葉付きみかん」は前年同様12月23日前後から始まる。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)